

# 日新館

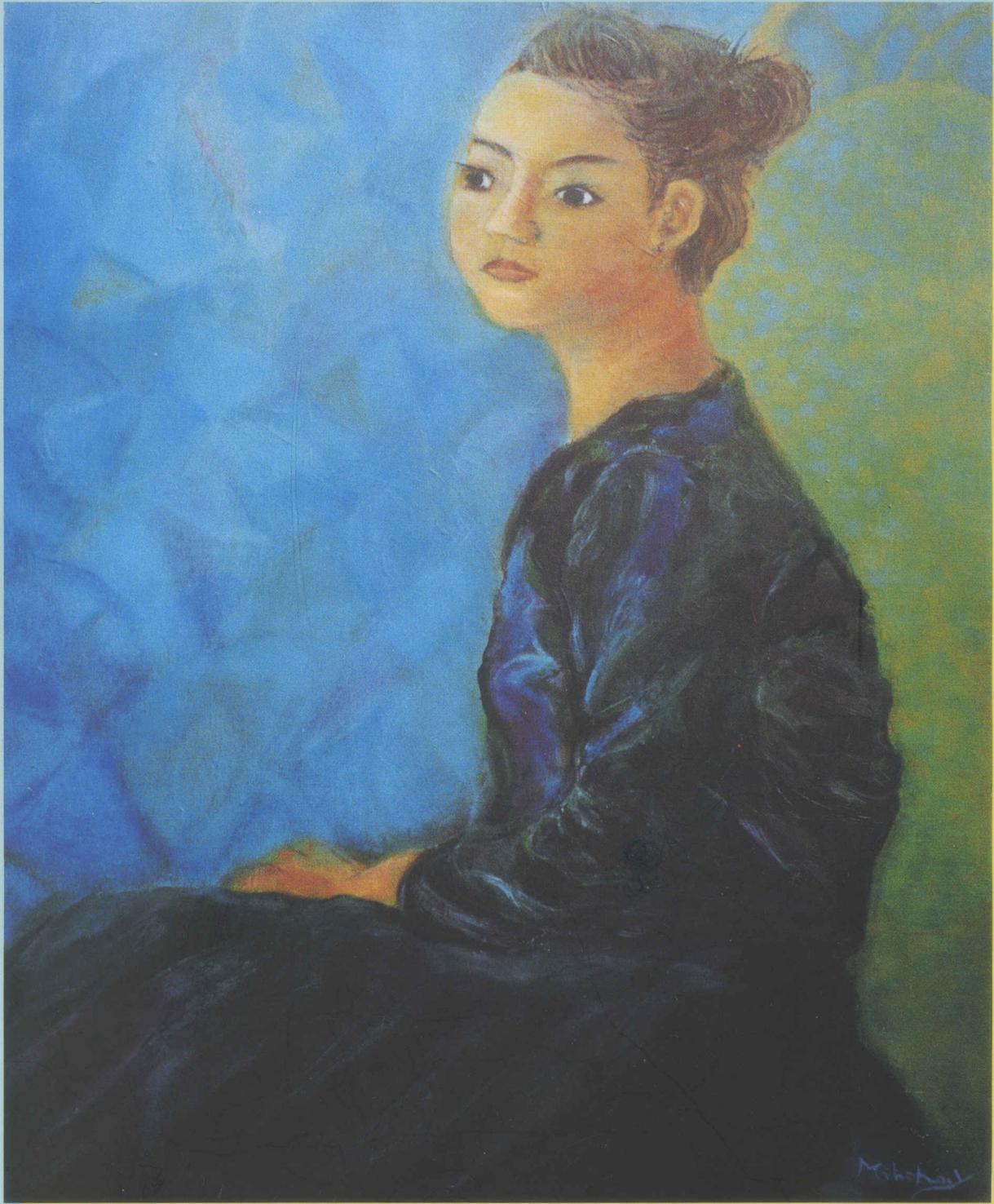
N I S S H I N S H O



2002年7月12日発行  
山梨県立甲府中学校  
山梨県立甲府第一高等学校  
東京同窓会

Vol.9

発行責任者 恩田 宗 (昭和27年卒)  
編集責任者 飯島 善一郎 (昭和39年卒)



NISSHINSHO

改革そして未来



### 平和の世紀を

東京同窓会会長

渡辺 喜一



昨年は二十一世紀のスタートの年で、アメリカではブッシュ政権、日本では小泉政権が発足しました。戦争の世紀といわれた二十世紀が終わり、私もは、新しい政権が平和と繁栄の二十一世紀への展望を開いてくれることを期待しました。

しかし、昨年は、アメリカ同時多発テロとアフガン戦争で暮れてしまいました。今年に入ってもイスラエルによるパレスチナ自治区侵攻がおこっています。ヨーロッパでは、オーストリアやフランスの選挙が示すとおり移民排斥やEU統合反対の極右が勢力を伸ばしています。宗教や民族の対立を克服し、融和の世界を求めるのは、まだ先のようなのです。

日本でもいまや有事法制の整備が大きな課題となってきました。

このようなときこそ、私も甲府一高同窓生は、平和への理想をおろすことなく、日本、世界をリードする気概をもって事に処していかねばならないと思います。それが百二十余年の伝統に通ずる道であると信じます。

### 新時代に日新の気概をもって

同窓会会長

井上 雅雄



二〇〇二年度甲府一高東京同窓会総会の開催、まことにおめでとうございませう。

さて、本年三月一日の卒業生を加え、同窓生は三万一千六百七十人となりました。二年前母校は創立百二十周年を迎えましたが、新たに同窓生として私たちのメンバーとなった青年たちの輝く瞳を卒業式場壇上からまぶしく観しながら、甲府中学・甲府一高の歴史を刻んだ百二十二年の歳月に感慨を新たにいたしました。

祝辞の一節で次のような話をしました。卒業生諸君、君たちの中に平成の織田信長がいる。時代は、信長のような因習にとられず現状を打破し、新しい時代を創り出す人材を待っている。

それについても私たち同窓生には強力な武器、大きな宝物があります。苟日新、日日新、又日新（苟に日に新たに 日に新たに 又日に新たに）の校是です。これは本誌の題名にも使われております。

政治、社会、経済、文化のなにもかも激しく変貌し、変革が求められる今こそ、世代を越え、世紀を



越えて全同窓生の心底に一筋に流れるこの言辞の含蓄を問い直してみる必要があるのではないだろうか。本会のご盛会を祝し、当番幹事の昭和三十九年・五十五年卒業の皆様のご苦勞に感謝し、日新の気概をもった皆様のますますのご活躍を祈念申し上げます、ご挨拶いたします。



## 御挨拶

甲府一高校長

山本 秀彦



甲府中学・甲府一高東京同窓会総会のご盛会をお祝い申し上げます。平素同窓会々員の皆様には母校発展のため多大なご支援を賜り心から感謝申し上げます。

現代社会にあつて様々な面における変革が激しく進む中で、学校に対する生徒のニーズは多様化の度を増しております。そのような背景の中で、教育の流れは社会の変化に対応できる制度面の改善、及



び生徒の多様な特性や要望に応じられる幅広い選択肢の用意等、画一化から個別化の方向であります。学校現場においては本年度から学校完全週五日制が導入され、その下で各学校はゆとりの中で特色ある教育活動を展開し、生きる力を育む学校作りに取り組んでいるところがあります。本校におきましても、新しい制度に直面し戸惑いもあります

が、受け継がれた伝統や校風を基礎としながら、本校の在るべき姿を見通しつつ有為な人材の育成に職員一同鋭意努力しているところでもあります。同窓会々員の皆様におかれましても、今後尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、東京同窓会の一層のご隆盛と会員の皆様のご多幸を祈念申しあげ、併せて当番幹事の皆様のご苦勞に謝意を表します。

## 夢のつながり

一紅会会長

五十嵐 節子



今年も一紅会幹事団が新春講演会の幕をあけた。講師の丸山昭氏は甲府中学ご出身、テーマは漫画である。

開催ご案内を発送する頃、ファンタジー「ハリ・ポッター」やアニメ映画「千と千尋の神隠し」が大ヒット。子供が主役の物語をあらゆる年齢層が楽しむ現象は、癒しの願望か退避行動かと話題が賑わう中で「今や人生五十年ではない。自分をどう生き伸ばして行くか、気持の奥で自己調整が働いているのでは……」というコメントが新聞に載った。

憧れや好奇心に満ちた子供の心は年を経ても人の内にある。その繋がりを大切にして「生き伸ばす」時代になった。

いま第一線で活躍する日本のロボット工学者たちは、鉄腕アトムなどの漫画を子供の頃に見て夢を育ててきたという。アトムの作者・手塚治虫氏と共に漫画メディアを隆盛に導いたのが、私たちの先輩・丸山氏である。

氏はすでに、若い編集者であったその当時から、世代を繋ぐ夢の連鎖を信じておられたのであろう。ご講演は笑いの渦と拍手の中で終わった。

学校の近況から

甲府一高総務主任

齊藤 正敏

本校では今年三月、三百四十二名の卒業生を送り出した後、今年度新たに二百八十一名を新入生として迎えました。在校生は、二十三学級九百二十一名を数えます。少子化の波は山梨県をも襲い、高校でも学級減が進行しています。

本県は一九六八年に始まった総合選抜制度を現在も維持しています。本校は甲府地区の四校(本校・甲府南・甲府東・甲府昭和)を対象とする総合選抜制度のなかにあります。総合選抜制は発足以来、生徒の希望制を採用するなど、現在に至るまでに様々な制度上の手直しが行われました。また各学校への専門学科の設置(本校では英語科)やコース制も導入され、さらに、総合選抜制度から離れて単位制高校や総合学科高校も誕生するなど、実際には多様な学校・学級が存在して、特性を競っています。

加えて県内における私学の成長も著しく、進学を目指す特別クラスなどを擁して、生徒の獲得に努めています。

一方、世間で注目を浴び、様々な議論を呼んでいる、ゆとりと生きる力を目指す「教育改革」は、高校教育の内部に大きな変容を迫るものとなっています。カリキュラムが改変され、授業時数が削減されるなかで、これに対応するためそれぞれの学校

が多く、の時間と労力を傾けています。四月から実施された五日制も様々な対策を必要とするものでした。本校では、長期休暇の短縮、七校時の実施、土曜日の登校学習などが計画、実施されています。

以上本校を取り巻く状況を、簡単に説明しました。こうしたなかで、甲府一高としてのどのようなアイデンティティを見いだし、作り上げていくのか、また教育上の成果を上げていくのか、本校が当面している課題です。困難な状況はご理解いただけるところと思います。しかし、現在の甲府一高は生徒も教員もいたって元気にあふれています。

・進路の状況

生徒の多くが進学を目指す傾向は、今も昔も変わっていません。成果も上がっています。昨年度末の卒業生三百四十二名のうち、短期大学を含め、大学に進学した者の数は二百四十六名で卒業生全体の七二パーセントに及びます。十年前の九十二年度の卒業生は五八パーセントでした。進学率が高まる傾向は、進学志向の拡大とともに、少子化に関係して大学入学が容易化する傾向を反映しているかもしれません。なお専修学校(予備校も含む)への入学者は全体の二四パーセントでした。

合格大学は国公立では北海道、東京、一橋、京都、地元の山梨、県立

女子短期大学などを初めとして各方面へ、私立大学においても早稲田、慶応、地元の山梨学院などから多様な方面に広がっています。また分野も、芸術や福祉方面などに進学者が増えるなど、多様化が進んでいます。

・生徒会活動

生徒会活動、課外活動は特に活発です。新入生の部活動への参加率は一〇〇パーセントに近く、四月、五月のキャンパスは殊に活気にあふれます。こうした傾向に見られるように、進学してくる生徒には、勉強とともに課外活動でも活躍しようとする者が多く、本校は両面が実現できる学校として実績を上げています。

ちなみに周辺中学校生徒の進学希望校として、本校は常に抜群の人気を集めています。その人気はこのこととも関係ありそうです。

昨年度目立った成績を残した部活動を紹介します。

全国高校総合体育大会には、アーチエリー・ソフトテニスの各部、全国高校総合文化祭には、書道、放送、化学の各部が参加・出場。関東大会には、陸上・ソフトテニス・アーチエリー・弓道・山岳・空手・水泳・硬式テニス・吹奏楽・放送などの各部が参加・出場しました。また書道や箏曲なども優秀な成績をあげ、今年度の全国高校総合文化祭への参加を決めています。

これらの活動を統括し、また一高祭などを主催する生徒自治会本部の

活動もめざましいものがあります。生徒会活動の不振、自主活動能力の低下が懸念されている高校の現状で、本校は例外的に活発な活動が行われ、豊かな成果を上げています。

・強行遠足

伝統の強行遠足は健在で、ますますその意義を高めています。昨年度の第七十五回強行遠足では、男子小諸、女子小海の最終ゴール到達者は五百十八人(参加者数九百六十二人)の高率でした。また小諸に一着で到着した石水秀樹君の所要時間は十一時間二十九分、これは近年の大会新記録でした。

講師募集のお願い

さて最後になりますが、最近の高校では、生徒に実社会を体験させるための試みがなされています。その一環として、社会の様々な分野で活躍する方々を招いて、その知識や経験を伝えてもらう機会が増えてきました。このことに関して豊富な人材を同窓生にもつ本校として、その同窓生のなかからこうした講師をお願いできたらと考え、現在具体的方策を検討しているところです。

当番学年として

三十九年卒当番幹事 幹事長 飯島 善一郎

本同窓会今年度の当番幹事は我々三十九年と五十五年の卒業生

が務めることとなりました。

当番幹事業務については、一昨年四月当番学年が迫って来るのを意識し、各クラス幹事を決めて助走開始したものの、具体的には殆ど走行せず、結局昨年九月引継ぎを受けてから大疾走せざるを得ない始末となった。

我々三十九年卒の卒業生は「終戦子」ということで、定員四百名と先輩より百名減のため、卒業生も資金も今まで以上に少なく、種々苦戦を強いられる結果となった。

ただ首都圏を中心に同級生約百五十名の名簿管理は平素より出来ていたのがせめてもの救いであったが、ただ連絡のついたことと、即協力とは必ずしもイコールでないことが悲しく、悩みの種ともなった。

この様な状況下、特に在郷の同級生の皆様には寝耳に水のようなお願いでしたが、「日新鐘」への寄稿、広告掲載等大変なご理解ご協力いただいたことは本当に有難く、非常な励みと同時に、反面期待に恥じないための責任の大きさを痛感せざるを得なかった。

時代を反映させて、今年のテーマを「改革そして未来」とし、懇親会も今までとは趣の異なった、出来るだけ手作りのものにするとし、また皆様からのご要望も取り入れ、より多くの時間を共有していただくため、ご歓談の時間を沢山取ることとした。

結果懇親会におけるイベントも、

三十九年卒を中心にしたOBによるプラスバンドをバックに、学生時代にタイムスリップしていただき、旧き良き友と時を越えた時をお過ごしいただくこととした。

また我々の入学時は一高が二十六年ぶり二度目の「甲子園出場」を果たした年でもあった。八方手を尽くして入手した当時の映像を通じてその時の感動をもう一度味わっていただきたい。そんな思いのイベント構成にした。

我々当番幹事は皆様の学窓での感動を甦らせて、楽しい一時をお過ごしいただき、これを機会に同窓生のご交流の輪がより一層拡がりますことを願うところです。

限られた人員、資金、時間の中の準備ではありましたが役員、各学年幹事、諸先輩方をはじめご協力賜りました皆様に当番幹事一同心より感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。

最後に総会・懇親会での一高生らからぬ下タキャン(当日欠席者)例年百名以上いる)の少ないことを祈り念じます。

### 青春して生きる

宮島 雅展

平成八年の五月、私ども昭和三十九年の卒業生は当番幹事として山梨での同窓会・懇親会を運営しました。恩師や母校の先生方、また数多

くの先輩、同級生、後輩の温かいご協力のお陰で何とか大役を終了することができました。また、この度は東京同窓会の幹事学年ということで往事も今もご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

さて、高校3年の卒業間近な頃の話です。あの時代、大学入試は一期校は三月の中旬、二期校は三月の中旬と決まっていた、一期校を受験する者は近隣の大学を除いて、たいがい卒業式には出られませんでしたが、私も分をわきまえず仙台の大学を受け(もちろんスベリましたが)式に出れない一人でした。

二月も下旬のある日、HRの時担任のH先生が「今日は出席率が高いな!」とおっしゃり「俺の贈ることはにするか。」と言ってお話をして下さいたのが以下であります。

「君たちはこれから受験をしたり、就職をしたり、いろいろと大変だが自らの腕だけを頼りにしっかり生きて行って欲しい。天は自ら助くる者を助くだよ。ところでサミエル・ウルマンの詩に、青春とは人生のある期間をさすのではなく心の有り様をいう。たくましい意志、ゆたかな想像力、燃える情熱をいう。青年とは積極的に取り組もうとする勇氣、安易を振り捨てる冒険心を意味する。理年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時初めて老いる。」というのがある。原文はもっと長いと言いたいのは今のくだりだ。我々の校

歌にもあるが、諸君は日に新た、また日に新たと努力して、いつまでもいつまでも、青春して生きて行って欲しい。以上!

今でこそ名詞に動詞が続けるとば使いはよく見られますが当時としては珍しく「いつまでも青春して生きよ」は新鮮に胸に響きました。三十有余年が過ぎて恩師のあのこゝとばがしきりに思い出されるこの頃であります。(三十九年卒山梨県議会議長)

### 「我ら想春期」三九会

三澤 恒徳

我ら昭和二十年生まれ「三九会」のゴルフコンペが五月十九日昇仙峡CCで開催された。例年春と秋の二回開催され、春は一高の同窓会の翌日と決まっている。

今回のコンペは四十回を数える記念すべき大会であり多くの懐かしい顔ぶれがコースに集い、楽しい雰囲気なかで好プレー、珍プレーが続出して驚きと爆笑の和やかな一日となった。

当ゴルフ部会の会員は目下七十名余りである。その成り立ちを紐とくと第一回は昭和五十九年十月十四日に行われている。何と無く声掛け合った仲間が十三名、場所は紅葉の始まった敷島カントリー、当日の優勝者は天野君、準優勝は藤江君とある。ワースト記録は百

五十回の池田君、ベストクロスは三六三六の七二とプロ顔負けの吉川君が記されている。

回を追うごとに参加者も増え第二十五回大会(平成八年十月六日昇仙峡)では富士山コース七番ホールで前述の吉川君見事ホールインワンの記述もある。

第一回大会より詳細な記録が残されていることは素晴らしいこと、一冊のノートがいまでは我ら三九回の掛けがえの無い財産となっている。

またゴルフ以外にも旧交を温め合う企画として、もっぱら里山や低山を対象としたハイキングを実施している。

「KFHSAC」山岳部OBの成澤君の企画によってこれまで千代田湖の白山から湯村山、長野の入笠山、富士の足和田山、要害山、釈迦ヶ岳等に登っている。行程には温泉や花見なども加えるので好評をよび、年ごとに参加者が増えている。同窓会の当番幹事をしたことを切っ掛けとしてまとまりが生まれ、かれこれ四十年前の思い出がフラッシュバックする。白髪が混じったり多少古びた顔にも面影が宿り尽きない話題に屈託なく楽しい一時を過ごす。

そしてまた来年の再会を約して別れる。甲府一高同窓会、五月のこの時期を心待ちにしているのは、私だけだろうか!

## モロッコのフェズを訪ねて

小林 牧子

ミラノで乗り継ぎ、一昼夜かかってカサブランカに、さらにラバト、メクネスを経て、フェズに辿り着いた。

モロッコは北アフリカの西の端にあり、アルジェリア、チュニジアと共にマダガスカル(日の没する国)と呼ばれる。

幻想的な風紋を描く砂漠、迷路さながらの深いメディナ、顔をヴェールで覆い隠した女性たち、アラブの神に護られてモロッコの人々は月の時間を生きているという。

アジアの東の果ての日本から見れば、地球の裏側の遠い国に、それほど長い間憧れていたことか。

世界遺産であり、世界一複雑な巨大迷路フェズ・エル・バリまで、とうとう来てしまった。かつてフェズを訪れた友人が、前を歩く人の裾をしっかりと掴んでいないと迷子になってしまうような危険な街で、散策するのには覚悟があると忠告してくれた。

中世の街並みを受け継ぐフェズは、モロッコ最初の首都で、バクタッドから逃れてきた王様がベルベル人を懐柔し、コルドバやチュニジアからの移住者を受け入れ、八世紀に基礎を築いた。

旧市街に入ると、たちまち方向感覚が麻痺し、現地ガイドのサポートなくしては一プロックも自力で動けそうになかった。無数の細かい路地

が網の目のように延びている。曲がりくねった上り下りの狭い路地を、荷物を満載したロバや馬が人におつきりそうになりながらすれちがう。ひしめく小さい店舗から、物売りの掛け声が飛んでくる。生きているニワトリや羊の頭をズラリと並べた肉屋、パン屋、ろうそく、絨毯、絹糸、山と積まれたオリブや木の実、香辛料、民族衣裳、鉛屋、金物屋、カフェ、床屋等々。うっかり立ち止まっても品定めでもしようものなら、置き去りにされてしまいそうだった。両手いっぱい革財布を抱えた少年が、「ろっこセンエン!」とまつわりついてきた。行くところ行くところに先回りして、ついでと路地裏からファンタムのように現れる。とうとう彼のあまりの熱心さに負けて、気が付いたときには十個の財布を手にしてしまった。

街の象徴カラウイン・モスクは、その緑の彩釉瓦がぬけるような碧空で輝いていた。馬蹄形アーチ、漆くい彫刻は豪華で、幾何学文様のモザイクタイルは清々しかった。

モスクを中心に学問の街としても発展したフェズは「アフリカのアテネ」と呼ばれていたらしい。生活の場と礼拝の空間が混ざり合っ、廃墟にもならず、近代化も目指さず、三十万人もの人が祈り、慎ましく千年も暮らし続ける。強烈な匂いと喧騒、そして猥雑さも併せ持つ不思議な街に、時に目眩さえ起こした。「星の王子さま」を書いたサン・テ

クジュペリはモロッコをこよなく愛した仏人作家であり、我々の高校時代ブームになったことを記憶している。「大人になることと引き換えに、あなたは何かを失ってしまったのではないか。生きる上で本当に大事なものを、忘れてはいないか」と彼は問いかけた。

サン・テクジュペリはモロッコ的那辺に魅かれたのだろうか。

民家の主が、熱いミントティをいれてくれた。フェズの人々が手放さなかったもの、彼らの営みについてはゆっくり考えよう。

ミントの葉がたっぷり入った甘い緑のお茶は、疲れた心と体を優しくときほぐしてくれた。

## 絵本とわたし

井上 友子

大学生の息子が四歳ぐらいから今まで、ほぼ二十年近く、公民館で子ども達を相手に絵本のおみせかせをしてきた。この間、二百冊は読んであるだろうか。

その中で、印象に残っているものについて、二冊ほどあげてみたい。

〇おおはくちよのそら

手島圭三郎著(リブリオ出版)

おおはくちよは、春になると北の国へ帰っていくのだが、こどもが病気になるために帰るのが遅れてしまつて、ついにそのこどもが死んで

しまった家族の話である。一度はその子をおいて飛び立ったのだが、途中から引き返してきてその子は家族の姿を見て安心したのか、その晩、息を引き取る。聞いている子どもはこの場面になるとしゅんとして聞き入ってくれる。よみきかせの会には小さい子どもも来るので、親が付き添ってくるのだが、その親の中には涙を流している人もいて、読み手のわたしには、読み甲斐のある本の中の一冊である。

○おじさんのかさ

佐野洋子著(講談社)

何よりも傘を大事にしているおじさんがいて、いつも傘を持って出かけるのである。晴れた日も雨の日も。少しの雨のときは傘をぬらさないように、ささないで、大雨のときは、傘をぬらさないように雨宿りをし、もっと大降りときは出かけないという変なおじさんの話である。「いそぐときはしっかりだいてははしていきました。」という場面で子ども達はくすくす笑い出す。しかし小さい女の子が男の子を傘に入れてあげて、楽しそうに歌を歌っているのを見たおじさんは、とうとう傘を開いてしまう。ここで子ども達は何となくほっとした表情で絵本を眺める。そしてうちに帰ったおじさんは、「ぐっしょりぬれたかさもいいもんだなあ。だいいちかさらしいじゃないか」という場面で、子ども達は其感して楽しそうに絵本に見入る。

こんな小さなことに喜びを見つけないがらの読みきかせの会である。

## 最近思っていること

波羅 芳武

笹子トンネルを抜けて、下り坂にかかると、正面に白根三山や鳳凰三山を背にした古里甲府盆地が目に入ってくる。他のどこにも負けない美しく、暖かい自慢の故郷である。

若い頃と比べて、甲府に帰ることが多くなってきたのは、年老いた両親に顔を見せる親孝行だけでなく、自分自身が年を取ってきたせいでもある。

学校生活で高校時代が一番つまらなかつた様な気がする。数学や英語のクラス分け試験の結果に胸をドキドキさせ、廊下で待っている人数をガラス越しに数えたことも今となれば、懐かしい思い出である。一番印象に残っているのは、松本までの最後の「強行遠足」。中村先生の松本までクラスで十人行くことが出来たら、二時間休講にしてあげるという言葉に、チェックポイントで自分が十番目であることを知り、天竜川沿いの夜道を松本目指して歩いたことは、二度と経験することの出来ない私の宝物である。

連続テレビドラマ「虹の設計」のロケの途中、荏崎での交通事故で死亡した佐田啓二と交代した主人公、

長門裕之の青函トンネルや黒四ダムでの活躍に憧れて、土木の道を選んだのもつい昨日の様である。

大都会東京での高速道路作りは、地元住民への説得の毎日であった。

昨今公共事業は悪で、その代表が道路作りであるかの様に言われているが、道路が我が国の発展にどれだけ役に立ったか、今後も日本が生きていくためには、人と物を効率良く動かすことの出来る道路は、国の財産である。

都会では地方と違って、道路作りへの応援は「票」に繋がらない。一度で良いから、地元の熱い眼指しの中で道路作りを試みてみたかった。それでも、「横浜ベイブリッジ」の設計に携われたことは、私の「地図に残る仕事」である。

未曾有の不況の中で、民間に出て早や四年、金を使う仕事から金を稼ぐ仕事への転換に、大変さと同時に大切さをひしひしと感じている。

リュックサックの中に技術という商品を詰め込んで、北は青森から南は九州まで売り歩く姿は、さながら、富山の薬売りと同じである。

新聞を賑わす一握りの連中の悪さは、道路作りを一生の仕事として真剣に取り組んでいる人々に対する冒とくであり、大変失礼な話である。

官僚として最高の地位まで登り詰めた知恵も工夫も持っている連中が、人生一度も金を稼ぐ仕事に携わらないのは残念であるし、そこにこそ、日本の不幸がある様な気がする。

「意味あるものを形に残す」。そんなことに私も微力ながらつくっていきたいと思う。

## 日に新

永井 哲夫

十八歳で故郷を離れ、三十八年が経過しました。

選定年退職が可能な年齢になってしまいました。市川、荻窪、沼袋、三十五歳で結婚して宇都宮、東中野、そして現在は三鷹に住んでいます。長男は高校三年、長女は中学三年です。

甲府の家には年老いた母が一人暮らしを続けています。七十八歳になります。父は九年前に亡くなりました。最近、甲府の恩師が亡くなったとの情報を耳にすることが多くなり寂しくなります。

老後は甲府に帰りたいと思うようになりました。しかし、甲府でがんばっている同級生は昔のように快く仲間に入れてくれるのだろうか、ふと考えてしまいます。ゴルフコンペのお誘いのハガキが送られてくるたびにうれしく思います。ただあの甲府盆地のきびしい寒さを思うと、少し尻込みしてしまいますが……。

最近、特に気力、体力の衰えを意識するようになりました。

大好きだったゴルフは、腰痛のためお休みにし、二年前に生活習慣病を指摘されたことからカロリー制限

とスポーツジムでのトレーニングに汗を流しています。これも年のせい  
か肘、足首、膝を次々に故障し、思  
うようにメニエールをこなせず情けな  
くなりません。加えて、老人性痴呆の  
始まりでしょうか物忘れが多くなり  
ました。そのため今年から簡単な日  
記を付けるようにしました。天気、  
体調、食事の内容、家族の様子など  
をメモ程度に残すようにしました。

趣味の音楽は、大学に入学後、オ  
ーケストラを結成し十年後にOBと  
してベートーヴェン第九交響曲を演  
奏しました。ヴァイオリンからヴィ  
オラに転向しました。卒業後、アン  
サンブル結成に参加してバッハのヨハ  
ネ受難曲、マタイ受難曲も演奏しま  
した。燃え尽き症候群でしょうか。  
アンサンブル解散後、十五年間はも  
っぱらオーディオ鑑賞のみで楽器  
は手にしていません。そろそろ老後  
の楽しみに胡弓を始めようかと考  
え友人にお願いして中国から購入  
しました。いつの日か「日に新た、ま  
た日に新た……」と弾けるようにな  
りたいと思っています。

### 今時の生物学への偏見

大木 芳正

一九八五年に家族で筑波の科学万  
博に行ったところ、その三年後つく  
ばに転勤になり、単身赴任一年、家  
族帯同で更に三年、計四年つくばで  
生活しました。その折りに、甲府

一高の筑波同窓会（今でも続いて  
いるのだろうか）の皆様にはいろ  
いろとお世話になりました。三年  
前の春に今度は京都・奈良に家族  
旅行をしたら、その翌年京都に転  
勤となつてしまいました。こんな  
事なら、今度は家族でヨーロッパ  
にでも旅行してみようか……。

そんなこんなで（？）京都に来て  
早くも一年半がすぎました。転勤に  
よつて、仕事もこれまでの半導体の  
分野から全く飛んで、今流行のバイ  
オ（生物・生命）の分野に変わりました。私自身が直接手を下して研究を  
しているわけではなく、研究管理の  
ような仕事をしています。そこで、  
突然身近に先端の生命科学の一部  
に触れたわけです。「これが生物学  
か!」というような驚きとカルチャ  
ーショックを受けました。甲府一高  
生物部卒業の私としては、生物には  
それなりに親しみを持っていたつも  
りなのですが、そんな中で考えたこ  
とを少し書いてみたいと思います。

私が今関係しているのは、生物と  
は言っても細菌（ばい菌）と言うと  
研究している人たちは大変いやが  
る。同じ事なのに。（のべん毛モータ  
ーの研究グループです。食中毒の元  
になるサルモネラ菌や大腸菌など身  
近な多くの細菌は細長い尻尾のよう  
ならせんスクリューを持っていて、こ  
れを毎秒二万回転位の高速回転さ  
せて休むことなく動き回っています。  
細菌の表皮にはこのスクリューを回

転させるための小さなモーターが備  
わつています。このモーターシステム  
は約三十種類ほどの蛋白質がそれ  
ぞれ数個から数万個組合わさつて  
できているのですが、回転子とか  
固定子とかの構成部品は扇風機を  
回すモーターと同じようなものから  
構成されていることは大変興味深  
いところです。人間の知恵も自然  
と対等なのか、回転機構としてはこ  
れが合理的な形なのか、と。

研究としては、例えばサルモネラ  
菌のべん毛を作っている蛋白質のう  
ちの一つの遺伝子を大腸菌の中に仕  
込んで、その大腸菌を培養し望みの  
蛋白質をたくさん作らせます。遺伝  
子を仕込まれた大腸菌にとつて見れ  
ばいい迷惑で、自分にとつて何の利  
益もない蛋白質を勝手に作らざるを  
得ないようにされているのですか  
ら。このことは見方を変えれば、病  
気になった大腸菌ともいえます。い  
や、病気にさせられたというべきで  
しょう。挙げ句の果てには、すりつ  
ぶされて哀れ一巻のおしまい。後は、  
すりつぶされた大腸菌君の遺骸か  
ら必要な蛋白質だけを取り出し、  
その他はゴミにされてしまいます。  
このようにして取り出された一つ一  
つの蛋白質やそのいくつかが組み合  
わさつたものの形や性質を、いろい  
ろな装置を使って分析していくとい  
うことをしています。

ところで、このようにして、生命  
の設計図とも言われる遺伝子をいと

も簡単に操っているわけですが、  
この安直さが私のカルチャーショ  
ックの元でしょう。こういった操  
作は、十分な経験の下、注意深い  
作業によって初めてできるものと  
いうようなイメージだったのです  
が、なんとなんと市販のキットを  
使つて、付属の手順書通りにやれ  
ば誰でも出来るようになってい  
る。こんなことありか!

遺伝子とそれが作る数万種類の  
蛋白質が複雑なネットワークで作  
用し合っているのが生命であると  
理解されています。この、「理解し  
た」と言うことも蛋白質の働きに  
還元されようとしています。いや、  
誰かを好きになつたのも何かの蛋  
白質のせいなのでしょう。いつか  
将来、誰かの心の中をのぞくよう  
なキットが売り出される? そんな  
心配がふと心をよぎる……これも  
蛋白質のせいだ。

一方では、クローンで人間の赤  
ちゃんを作る話がイタリアで進んで  
いるように報道され、論議が起こつて  
います。数年前にイギリスでクロー  
ン羊が生まれた時に、いずれば人間  
でもと言われたことが現実にな  
つたということでしょう。実際、各  
国で（日本も含めて）いろいろな哺乳  
動物でクローンが報道されているこ  
とは、この技術も基本的には一般  
なものとして普及していることの表  
れでしょう。

ともあれ我々はこのような時代に

生きていることを意識しないといけないのではないでしょう。この歩み(走りかも知れないが)は止めようとしてもたぶん止められない。可能なことはいいいことも悪いことも必ず誰か実行する人間が出てくるのが人の世のならい。はてさて。

### 人間らしく生きるということ 小倉寛太郎さんの講演を聞いて

戸田 延子

一九九九年(平成十一年)六月刊行された山崎豊子著「沈まぬ太陽」全五巻を、私は発売と同時に読んだ。あの日本航空界史上もつとも無惨な御巣鷹山事故を起こした日本航空を舞台にした小説である。この小説はたちまち大ベストラーになり、昨年十二月には文庫本も出版された。

小説を読んで、それまで全く知らない世界であった日本航空業界の抱える問題点のひどさに腹が立ったが(例えば、両足がおかしくなるほどのヨーロッパへの旅をした、エコノミークラスの私に比べ、ファーストクラスのタダ券がバラまかれるなど、許せない!)、何よりも主人公の恩地元の真つずぐな生き方に心底感動したのである。主人公は、日本航空労組執行委員長として、会社の中の糺すべきことを糺したために、カラチ・テヘラン・ナイロビと十年もの間不当な海外勤務をさせられたのであ

る。しかし、彼は権力の誘惑にも脅迫にも屈しなかった。

この主人公のモデルになった小倉貫太郎さんのことは、今では有名である。日航を一九九〇年に定年退職後、東アフリカ研究者、自然写真家として活躍しておられる。

実は、この小倉さんは私たちの同窓生、先輩だったのである。一九四五年、父親の工場が山梨県に疎開したため、甲府中学に入学となったのだ。山梨県高等学校、障害児学校教職員組合の執行委員長をしている私の夫(戸田康)は、このことを知り、組合主催の教育文化講座に講演をお願いしたところ、お忙しい身、その上体調も崩されているとのことであつたが、「後輩の要請ならば」ということで、三月二日の講演となった。当日は近年最高の三百五十人余の教職員と多くの県民で会場は満杯となつた。

氏のお話は、なぜあの過酷な状況に屈せず、意志を貫けたか、それは戦中、戦後の戦争体験にある。ということだつた。もちろん、甲府中学で授業はなく、工場で木製特攻機の尾翼をつくっていたという。学校に行くのは日曜日だけで、校庭を掘り起こしてつくった畑で、ジャガイモ・サツマイモ・カボチャ・小麦・大麦を作る農作業のためだつた。ところが、ジャガイモもサツマイモも先生がみんな持って行ってしまい、生徒の口には一口も入らなかつた。六

月の甲府大空襲も見たということだ。

戦争が終わって、日本人の変わり身の早さに失望する、「鬼畜米英」と言っていた大人が、「自分は戦争に反対だつた」と言い、「アメリカ・ベツタリ」になっていくのを見て、「あれは人間の生き方ではない」と強く思ったという。それから、一高の伝説とも言ふべき生徒のストライキの話もあつた。すなわち、全国のあちこちであつたらしい、軍国主義的教員排除の大ストライキである。良心的な教師もいたが、(その先生とは、つい先頃先生が亡くなるまで同級会をしていたそうだ)やたらと体罰を加えた教師、生徒の勤労の結実を盗んだ教師、そして軍の学校に志願しないのは非国民だと言つて罵り、無理やり軍の学校に志願させた教師、この教師は全部辞めると、リストアップしてストライキをやつた。この要求は驚くべきことに全部通つたとのこと。

この事件については私も何度か耳にしたが、直接体験者から話が聞けたことが、新鮮な感動であつた。講演の中で、特に心に残つた言葉を書きます。

誘惑にも脅迫にも負けなかつたのはなぜか。

—自分の志を理不尽に踏みにじろうとしたら、誰でも断るのが当たり前です。あの戦争の時代、フランスでレジスタンス運動をやっていた人

も、特別なことと思わないで、人間としてやるべきこと、普通のことなんだということ、命を賭けてやっていたんじゃないでしょうか。

よく会社を辞めなかつたですね。  
—私が辞めれば、一番悲しむのは現場で働く人達。どちらも絶対させたくなかつた。世の中、不当なことが勝つこともある。正義が勝つこともある。やがて真実がわかります。メソメソしてもしょうがないことはない。「明けぬ夜はない」「転んでもただでは起きない」精神です。

—今日の権利と自由の影には、多くの犠牲があつたことを忘れてはならない。日本国民三百十万、アジアの人々二千万人の犠牲に報いるためには、靖国神社に参ることではない。権利と自由を守り続けることだ。

—組織にリーダーは必要です。しかし支配者はいらない。動物の群にリーダーはいますが支配者はいません。学校のリーダーになつて下さい。  
—教師の任務は重い。教え子が再び銃をとらないで、戦火にさらされないようにして欲しい。今の日本は充分にその危険がある。

甲府中学、甲府一高の同窓生の中には、誇るべき方々がたくさんおられます。私にとつては、この小倉さんに出会えたことが文字どおり「勇気をもたらした」ことで最高の喜びでした。写真集「アフリカの風」をサイン入りで購入しました。

## キャンデーを 取り出す

中野 郁子

私は、甲府一高の入学式に出席できなかった。「急性虫垂炎」の手術を受けた私は、市立病院のベッドの中にいて、入学式には、父ひとりが出席した。

退院して通学が許された日まで、大きな不安をかかえて日々を過ごした。授業はどんどん進んでいるだろう。追いつけるだろうか。クラスの仲間、すっかりうちとけているのに違いない。友だちができるだろうか。思えば、十五歳の少女(?)。心は重かった。

十余日後、初登校の日。三年生の姉といっしょに、家を出た。塩部町に住んでいた私たちは、徒歩通学だった。不安は頂点に達していたのか、うつろに歩いていた私は、道端の石ころに足を取られて、田んぼに落下。すり傷ですんだものの、出鼻をくじかれた思いで、家に引き返したくて、涙がポロポロ……。姉がいなかったら、間違はなく、踵を返していたらう。

担任の清水七之輔先生が事情を説明し、紹介してくださった時は、緊張して両脚が震えていた。一時間目の授業が何だったか、今は思い出せないが、頭には何も入らず、緊張のまま終わった、と思う。

休み時間になると、私の斜め前の

友が鞆をあげて、きれいな紙袋を取り出した。

「いっしょに食べましょう」

紙袋の中には、キャンデーが入っていた。

「私たちは、交代でキャンデーを持つてきて、休み時間に食べるの」

ひそやかにほほえみながら、私にキャンデーを渡してくれたのは、涼し気な眼の、おとなっぽい美しい人だった。

「校則に反しているから、内緒ね」

隣の席の友は、そう言って、たいて悪びれることもなく、キャンデーを口に入れて笑った。

一瞬、驚いてタジロいしまった私だったが、お礼を言つて、キャンデーを口にした。そのキャンデーを食べ

終わる頃、不思議にも、私の不安や緊張はどこかに消えてしまっていた。校則に反するというキャンデーは、その時の私には格別の味がした。

次の日から、遅れて入学したハインディキップなど、すっかり忘れて、楽しく通学した。校則に違反した彼女たちのおかげであった。

たわいのないこと言つてしまえば、それまでである。が、私にとっては忘れられない大切な思い出である。その友たちへの感謝をこめて、名前は伏せさせていたたく(もつとも、とつくに、時効になつていられるかもしれないが……)。

そんな懐かしい友たちと同様に、私も、これから生きる時間よりも、

これまで生きてきた時間の方が、はるかに長くなつてしまった。あるいは喜び、悲しみ、あるいはうらみ、妬み、あくせく過(こ)してきたが、来し方は、何事も運、不運として片づけてしまおう。このあたりで、歩調をゆるめ、ゆつたりと歩いていこう、と決めた。

老齢の両親と暮らしている私にとつて、行く末は、何があつても不思議でない現実が想像される。不安がないでもない。が、折りがあつたら同窓の方々と語り合うのも、心のカタルシスになる。友がたずねて来てくれたら、それもまた、嬉しい。これからは、そんなたおやかな人生を送りたい、と願つてい

## 「心のフィルム」

福田 民生

我々の心のフィルムに、いろいろな物や事柄が記憶に焼きつき始めてから約五十年が経過しようとして

いる。或る事は今でも手に取るように鮮明に覚えてい

る。忘れてしまつてい

る事もある。しかし、大部分は少しづつ形を変えて(楽しかったことは、より楽しく、辛かった事も、何時の間にか楽しい思い出となつてしまつて)記憶に残つてい

るのではないだろうか。人の心に焼き付く記憶は一体何が基準で強かつたり、弱かつたり、また残らなかつたりするのだろうか、経験した期間が大き

影響しそうに思うが、どうもそればかりではなさそうである。本当のところは、誰も(本人さえも)解らないのではないだろうか。

自由な時間が多くなつたこの頃、ヒョットしたら自分でも知らないうちに心の奥底に入り込んでしまつていたのかも知れないと思つたのがチラチラ顔を出す。南アルプス甲斐駒ヶ岳の「七丈小屋」である。大学一年のとき先輩に紹介してもらい夏休みに七丈小屋で小屋の手伝いをする事にした。期間的には、大学の四年間と会社に入つてからの四、五年間位と短くしかも夏休みの間だけであつた。その後、社内のマージャンや出張、子育てと人並みに忙しくなるのにつれて甲斐駒のことも忘れてしまひ登らなくなつて二十年以上になるのに、何故か、また登つてみた。出来れば小屋の手伝いまでしてみたい思つてい

る。

甲斐駒は

①長くて辛い登り

②登山道が無くなつてしまつたと

仰天した。剣の刃渡り

③休みたくても休めなかつた梯子

道の続く黒戸山への登り

④此処を通らずに下山する方法は

無いかと、小屋のおじさんにし

つこく聞いた恐怖の鎖場

等々、幾ら考えても明るく楽し

いといつた良い映像はないはずなのに、何故だろう。

# 一紅会だより

第5回新春講演会  
2002年1月26日 アルカディア市ヶ谷



講師 丸山 昭氏

甲府一高を卒業した女性達のネットワークの「一紅会」は平成八年に発足し、以来同窓会の活動の一環としての新春講演会は、今年は第五回目を開催することができました。

講師には、二〇〇一年に「手塚治虫文化賞・特別賞」を受賞された丸山昭氏（一九四八年甲府府中学卒）をお迎えしました。丸山氏は、児童雑誌編集者として、手塚治虫氏と長く付き合い、石森章太郎氏、赤塚不二夫氏等、トキワ荘に集まった多くのマンガ家を育成されました。ストーリーマンガを拡大し、マンガ文化への大きな功績が受賞の対象となりま

した。私たちの大先輩が、マンガメディアの発展の先達としておられることは、改めて同窓生が広い分野で活躍しておられることを実感した次第です。

一月二十六日、講演会当日は天候にも恵まれ、二〇二名（内男性一〇三名、女性九九名）の多数の出席者を得て大盛況でした。

これも皆様の御協力と一紅会幹事による四回の講演会の積み重ねとなり、当番幹事としては満足のいく結果となりました。講演会後の「ロリポップパーティー」では、会場、料理、会の進行等、反省点もあり、今後の課題として次年度幹事に引き継いでいきたいと思っております。

本年度一年間の一紅会の活動としては、年四回の幹事会の開催と昨年六月二十九日に、新春講演会開催に向けてのプロジェクトチームの発足。以後計八回のプロジェクトチームの会合。また、講師との折衝、印刷屋との交渉、会場の係との打ち合わせ等、各担当ごとに精力的に活動を続けて参りました。

今後、同窓会における一紅会の位置づけ、講演会のあり方等、各委員の意見を交換しながら、一紅会が尚一層の充実した会となるよう希望いたします。

昭和三十九年卒当番幹事

## 大盛況だった新春講演会



### 編集後記

新宿3丁目、今回の東京同窓会の準備会に始めて参加しました。約40年前の新宿とは様変わり途中2回ほど道を訪ねながらやっと到着しました。「ヤーヤーお久しぶりどう元気にしてる？」と口では言いながら頭の中では（はて彼はなんと言いまえだっただけ）と考えながらの打ち合わせが暫く続きました。委員長、事務局長、その他幹事さんの努力には本当に頭が下がりました。もう一息ですネ全部終わったら乾杯しましょう。

（福田 民生）

### 表紙のことは

不安に満ちたまなざしを投げかける少女、私達の17歳の表情を描いてみたかったです。私達、いえ少なくとも私は未来への不安、不思議な切なさを抱いていました。そしてあれから数十年、中期から、そろそろ初老にさしかかった今、仲間達はどんなまなざしを投げかけているのかとアレコレ考えています。39年卒吉岡 美穂子(旧姓 平林)【追伸】個展を開きます。すこし先の話ですが是非足を運んでください。

●日時 平成15年8月6日(水)  
12日(火)

●場所 横浜そごう9階  
「ギャラリー ダダ」

●テーマ 花、人物、風景

かんのんじ はくほうかくさいでん  
**観音寺 白鳳閣齋殿**

住所 東京都国分寺市西町2-27-8 バスをご利用 国立北口駅前乗車 弁天通り折り返し行  
 (約5分) キョコマン倉庫前下車  
 または、西町3丁目下車徒歩2分  
 タクシー利用国立北口駅前乗車西町の観音寺まで、と伝えて下さい。

電話 観音寺 ☎042-572-3225  
 白鳳閣 ☎FAX 042-580-6113

**木立に囲まれた縁豊かな空間で安らかなひとときを**

仏教13宗の式に対応しています。

献花式、音楽追悼公演にも対応できます。(ピアノ常設スタインウェイ)  
 ご利用の人数に合わせて全館使用と部分使用をお選び頂けます。  
 冷蔵安置庫を常備していますので式の日取りの調整が可能です。

通夜、葬儀、初七日、法事までの一貫した式が可能です。

通夜の場合、ご親族5名まで仮眠できます。

法事の会食は、近隣の業者をご利用頂くか、自前でご用意ください。指定業者はありません。

お飲物については瓶等の資源回収の為に、指定の業者を御利用ください。

駐車場も完備しております。(50台可能です)



国立駅北口4分



華蔓(グランドホール)・正面

山梨県／石和温泉郷



甲州の旅  
ホテル

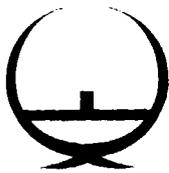
こはくえん

柏園

山梨県東八代郡石和町市部822  
ホームページ  
<http://www.yin.or.jp/user/kohakuen>

TEL 055-262-5890(代)  
TEL 055-262-2224

古屋 佳寿子(昭和39年卒)



文教グループ

中部文教株式会社  
株式会社文教マネジメント  
株式会社トータルサービス  
有限会社リニアエクスプレス

代表取締役 竹中 索 (昭和39年卒)

本社 東京都世田谷区下馬3-31-8 オフィス文教  
TEL 03-5486-6351  
甲府支店 山梨県中巨摩郡玉穂町若宮19-1  
TEL 0552-74-0859

名古屋支店 名古屋市東区東桜1-13-3  
TEL 052-952-7441

ISO 9001:2000  
認証登録 JQA-1904

総合建設業



長田組土木株式会社

osada

本社 山梨県甲府市丸の内二丁目9-20  
電話 055(231)1111

山梨支店長

FUJITSU

飯島 信之  
IIJIMA Nobuyuki

富士通株式会社  
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-17-10  
(東武穴水ビル2F)



My house, My life.  
RYUDO LAND Co.

竜王土地

☎0552(76)5914

藤本克雄 (昭和39年卒)  
中巨摩郡竜王町竜王新町342-2

株式会社 ミサワ

代表取締役 三澤恒徳 (39年卒)

甲府市北口一丁目2-15

TEL 055-254-2611  
FAX 055-254-2633

山梨県議会議長 宮島 まさのぶ  
山梨県議会議員 皆川 いわお

昭和39年卒



JA山梨経済事業連指定  
JA諏訪湖指定

JA小海指定  
JAクレイン指定

JA上伊那指定  
JA諏訪みどり指定

JA南牧指定

株式会社 山梨墓石センター

代表取締役 今橋 保  
(昭和39年卒)

〒400-0813山梨県甲府市向町714  
TEL 055-237-1441(代表) FAX 055-235-3751

## 天野 歯科医院

医院長 天野 琢也  
副医院長 天野(雨宮)静子 (39年卒)

〒403-0004 富士吉田市下吉田25  
TEL 0555-22-0322  
FAX 0555-22-0075

## 池田 皮フ科

池田 和夫 (昭和39年卒)

甲府駅丸ノ内2-1-10 TEL055(237)3124  
(甲府駅前 郵便局アルカディアビル3F)

祝122周年

希望の光を求めて

成澤 正通 (S28年卒)  
成澤 茂信 (S34年卒)  
成澤 秀仁 (S39年卒)

割烹 壇

高井法弘 (昭和39年卒)

〒400-0016 甲府市武田2-1-14  
(甲府信金北支店前入る)  
TEL 055-253-8877

# 吉川外科・整形外科

院長 吉川 英雄 (39年卒)

〒409-3851  
山梨県中巨摩郡 昭和町 河西 623-8  
TEL (055) 275-6361  
FAX (055) 275-8399

処方せん調剤

## さの薬局

甲府市緑が丘一丁目 (塩部バス停前)

代表 佐野 哲也  
(平成7年卒)

**AKIYAMA** 酒類食品問屋

秋山酒類販売株式会社

東八代郡石和町市部西河原789-95 〒406-0031  
TEL (055) 230-5220  
FAX (055) 262-1050



TSUTAYA  
甲府バイパス店

甲府市上阿原町373  
TEL 055・235・1241  
午前10:00~深夜12:00(年中営業)

秋山 武文 (昭和39年卒)

橋梁設計・道路設計・構造物調査・地質調査・環境調査・施工管理

建設コンサルタント

## 日本構造技術株式会社

代表取締役 波羅芳武 (昭和39年卒)  
八田政仁 (昭和48年卒)

本社：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-13-5 第20中央ビル  
TEL 03(3666)5411 FAX 03(3661)1629  
山梨営業所：TEL 055(220)3421

内科 小児科

## 高橋医院

高橋(藤森)康枝 (昭和39年卒)

〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-25-13  
TEL 03-3713-2975

### ■ フタミ薬局 ■

山川(山下)礼子  
(昭和39年卒)

〒264-0032 千葉市若葉区みつわ台4-1-11  
TEL 043-285-0377

西武新宿線・狭山市駅東口前

 メガネの

**ギョクホー堂**

埼玉県狭山市富士見1-4-19  
☎ 042-957-0295 ◎甲府店の姉妹店

—39年卒—

## 武田歯科クリニック

院長 宅間俊一 (昭和39年卒)

甲府市武田3-7-1  
TEL 055-252-4182

## 進士歯科医院

進士 省三  
(昭和39年卒)

〒401-0012 大月市御太刀1-8-19  
TEL 0554-22-0135  
FAX 0554-23-3736

# 笠井 收 法 律 事 務 所

弁護士 笠井 收 (昭和39年卒)

〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番7号  
第33宮庭ビル1003号  
電話 03 (3356) 7617 (代)  
FAX 03 (3356) 8155  
Email skasai@oregano.ocn.ne.jp

MAS [経営助言]・TAX [税務受託]

税 理 士  
小 野 浩 道

小野浩道税理士事務所

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町49番20号  
代々木ハピテーション407号  
電話 03 (5478) 7071  
FAX 03 (5478) 7010



## 設計監理

- 分譲マンション
- 賃貸マンション
- 事務所ビル
- テナントビル
- RC住宅
- 教会等

Photo:YSビル B2F~5F (延529坪)



## 矢崎 司 法 書 士 事 務 所

司法書士 矢崎 欣一 (昭和39年卒)

〒405-0006 山梨県山梨市小原西481  
電話 055 (322) 2402  
FAX 055 (322) 4864

株式会社 中嶋文夫プラスディー・エイ設計事務所

代表取締役 中嶋 文夫 (昭和46年卒)

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-5-24 中嶋ビル4F  
TEL:0422-51-8417 FAX:0422-51-8436  
E-mail:da-sekkei@tokyo.email.ne.jp  
URL:http://www.ne.jp/asahi/da-sekkei/nakajima/

## 牧野内総合法律事務所

弁護士 町田 正男 (昭和39年卒)

〒101-0048 千代田区神田司町2-4-2  
神田アーバンビル 7階  
TEL 03 (5256) 5591  
FAX 03 (5256) 5593

建築設計監理・耐震診断・改修補強設計

一級建築士事務所

## 末木建築設計事務所

代表 末木 和彦 (昭和39年卒)

〒236-0022 横浜市金沢区町屋町3-15  
金沢建設会館3F-B  
TEL:045(701)1216  
FAX:045(701)1254

# 山梨ちゅうぎん トクトク倶楽部

個人ローンの金利優遇や  
ATM時間外手数料無料など  
うれしい特典がいっぱい!



toku@club

お申込みは  
無料です!

くわしくは店頭で  
<http://www.yamanashibank.co.jp/>

**お申込みはATM・インターネット・郵送でもOK!!**

お問い合わせ先

**0120-201862**

受付時間=9:00~17:00 月曜日~金曜日(ただし、銀行休業日は除きます。)

**山梨中央銀行**

**先輩!**

**今、受け継ぎます!**  
伝統のバトンを...

平成15年 当番幹事  
甲府一高東京同窓会40会

**岩井機械工業株式会社**

取締役  
経営本部長

**網倉 武夫**  
(昭和37年卒)

〒144-0033 東京都大田区東糞谷3-17-10  
TEL 03-3744-1119 FAX 03-3741-8399

アムズ北研 山梨県総代理店

**株式会社 山梨北研**

代表取締役 **河口光賀** (昭和39年卒)

山梨県中巨摩郡昭和町西条2533-1  
TEL(055)275-2815 FAX(055)275-2819

・中規模汚水処理施設・合併処理浄化槽・農業集落排水処理施設  
・三次処理施設・産業廃水処理施設・メンテナンスサービス・水質測定分析

*Green the Deserts of  
the Earth and the Human Mind!*

**人と地球の砂漠に潤いを!**

〈2001~2002年〉

甲府シティロータリークラブ会長

**後藤 臣彦**

**IBM** 日本アイ・ビー・エム株式会社

昭和39年卒業

**斉藤 紀夫**  
**細田 達夫**  
**望月 正文**



**MOCHIZUKI**

代表取締役

**望月 俊二**

株式会社 **望月**

山梨県南巨摩郡鉢沢町駅前通り2丁目3680 〒400-0602  
TEL 0556-22-1165(代):FAX 0556-22-4879  
E-mail: motizuki@beige.ocn.ne.jp

## 神奈川県住宅供給公社のケア付高齢者住宅

# 「ヴィンテージ・ヴィラ」シリーズ

神奈川県内に5つのシニアライフステージ。  
これからの人生をもっと謳歌したい…  
そんなシニア世代の方々にお届けします。

提携施設：介護専用型有料老人ホーム

## トレクォーレ横浜 若葉台

- グループホーム方式
  - 安心・快適なサポートサービス
  - 全室個室
- 〈お問合せ先〉  
0120-11-6524  
045-922-0713

- ヴィンテージ・ヴィラ横浜
- ヴィンテージ・ヴィラ向ヶ丘遊園
- ヴィンテージ・ヴィラ洋光台
- ヴィンテージ・ヴィラ相模原
- ヴィンテージ・ヴィラ横須賀

飯島 善一郎（昭和39年卒）  
鈴木 健大（昭和63年卒）

〈事業主〉

神奈川県住宅供給公社  
〒231-0021横浜市中区日本大通33  
TEL:045-651-1831(代)  
URL <http://www.kanagawa-jk.or.jp>

〈管理・運営〉

(財)シニアライフ振興財団  
〒231-0007横浜市中区弁天通三丁目48  
公社弁天通3丁目第2共同ビル  
URL <http://www.seniorlife.or.jp>

お問合せ先

0120-428-660  
045-664-4771

千葉県公安委員会指定

## 公認佐倉自動車学校

佐倉市岩名957-1 043-485-1558  
<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~sakura/>



普通【MT・AT】

大型

自二

大型特殊

普通自動車講習機関  
(初心者講習)

認定講習機関  
(ペーパードライバー)

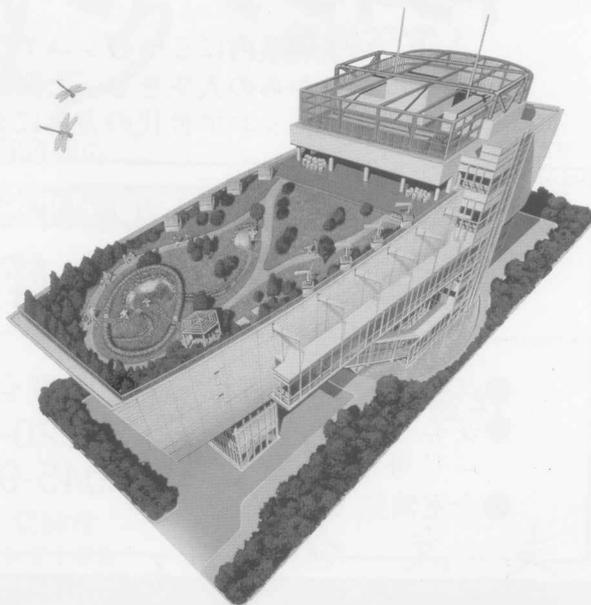
代表取締役

網 仲 純 子

(昭和39年卒)

## トンボの目線でご紹介します。

川や池、原っぱなどわたしたちの身近にあった自然は、こども同士が最初にふれあう場所でした。昭和30年代以降急速に消えていった都市部のこうした自然が、この屋上ビオトープのモデルです。「環境エネルギー館」は、横浜市の潜在的な植生と小さな流れのある池を建物の上に創出し、こどもたちのもつ“センス・オブ・ワンダー（不思議に思う心）”を大切に、見て触れて、遊びながら学べる「体験学習の場」を目指しています。



## The Energy & Earth Exploratorium

環境エネルギー館：神奈川県横浜市鶴見区末広町1-7-7 Tel.045-505-5700

ホームページ：<http://www.wondership.com/>

●開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで） ●休館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始 ●入館無料

ワンダーシップ  
wonder ship  
環境エネルギー館

# 軽さを重く考えます

日軽金はこれからも

わが国唯一の総合一貫メーカーとして  
人とアルミの未来を見つめつづけます。



日本軽金属  
NIPPON LIGHT METAL

# 祝 甲府中学・甲府一高東京同窓会

東京地区 三一会 (昭和31年卒)

天ぷらの老舗

木挽町 **天 國**

新宿店 新宿高島屋レストランズパーク14階

日本橋店 日本橋高島屋6階

柏店 柏 高島屋地下1階

有限会社 甲斐屋

代表取締役 **剣持甲斐太郎**

東京ガス取締役

**井 上 幸 彦**

(第八十代警視總監)

## 藤沢脳神経外科病院

### 診療科目

脳神経外科、外科、整形外科  
神経内科、理学療法科、麻酔科

### 特殊健診

脳ドック(1日コース、1泊コース)

神奈川県藤沢市片瀬2-15-36

TEL 0466 (27) 1511 (代表)

FAX 0466 (28) 0882

院長 **数 野 隆 人**

## 株式会社 山文

本社 福岡県飯塚市新立岩1番20号

電話 0948-22-0215

東京支店 品川区東五反田4-9-2

電話 03-3441-4125

取締役社長 **廣瀬 彰義**



## ミンクマジック

東京都品川区西五反田7-22-17

TOCビル地下1階

電話 03-3494-2786

**岩本 福喜**



医療法人社団 **孝和会**

介護老人保健施設

## 能 見 台 パ ー ト リ ア

〒236-0058 神奈川県横浜市金沢区能見台東10-1

TEL: 045-790-5733 FAX: 045-790-5737

理事長 **柳 澤 和 孝**

## 東京地区三ーゴルフ会有志

浅川 治男

石井 澄夫

井上 高明

大沢 清孝

鎌崎 宣好

小池 武彦

信田 岩根

谷 武

角田 由和

名取 正

原 進

平賀 一郎

# 大和パークビル

伊勢丹相模原店 契約駐車場

**330台**

営業時間 9:00~22:00

伊勢丹相模原店正面向側

〒228-0803 相模原市相模大野3-7-11

**042-740-0230**

不動産総合商社

## 大和興産株式会社

土地・建物・住宅・駐車場  
売買・賃貸・仲介・管理 etc.

資産運用コンサルティングとして、あらゆるご相談に応じます

相模大野駅南口正面

〒228-0803 相模原市相模大野7-8-12

**042-742-0334**

大貫 富美子(旧姓:山田)昭和39年卒



事務総長

恩 田 宗

(昭和27年卒)

国際機関 日本アセアンセンター  
(東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター)  
〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル  
TEL 03-3546-2011 FAX 03-3541-5276

### 芝大門法律事務所

弁護士 大脇 茂 (37年卒)

東京都港区浜松町1丁目25番13号  
浜松町NHビル4階  
TEL03-3438-1498  
FAX03-3437-6025

### 笠井総合法律事務所

所長 弁護士

笠井盛男  
(昭和27年卒)

〒104-0061 東京都中央区銀座2-9-14銀座ビル6F  
TEL(03)3561-2566 FAX(03)3561-2568

### 磯部 公認会計士 事務所

所長 磯部芳彦 (昭和39年卒)

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目5番11号  
電話 055-232-7292 (代)  
FAX 055-232-7298

### 鈴木明法律事務所

鈴木 明 (昭和37年卒)

横浜市中区弁天通2丁目26番地  
第2トーホービル3階  
電話 (045)212-1021  
FAX (045)212-1022

### 近藤・鈴木法律事務所

弁護士 鈴木 仁  
(昭和43年卒)

事務所 東京都あきる野市上代継318番地  
TEL (042)558-0426

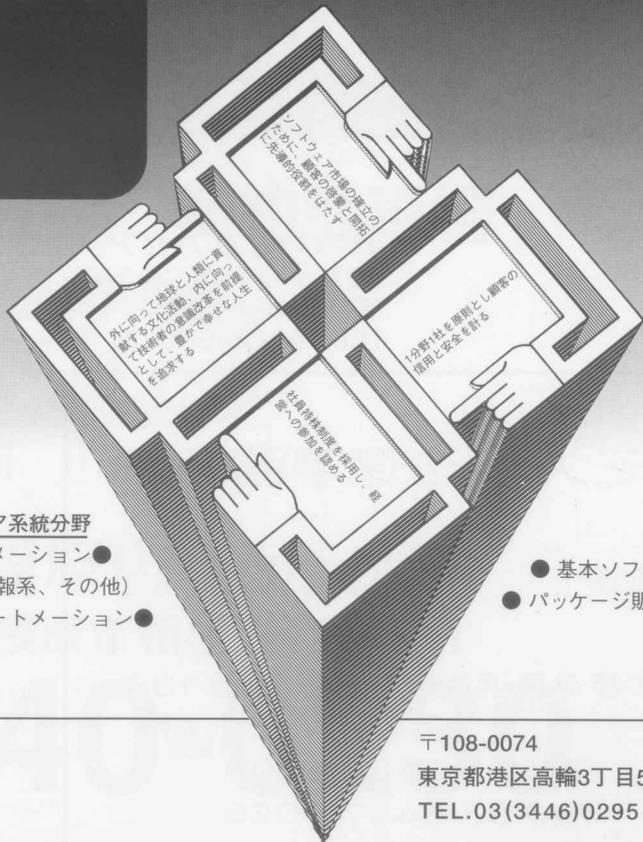
### 東京リベルテ法律事務所

弁護士 笠井 治  
(昭和42年卒)

〒105-0001 港区虎ノ門3-25-2  
ブリジストン虎ノ門ビル1F  
TEL 03-5776-2211  
FAX 03-5401-2261

●ソフトウェア開発及び販売を専業とし、  
 関連業務の多角化でなく  
 開発分野の総合化と流通化を計り、  
 情報社会に貢献する

- 創立年月日 昭和46年7月16日
- 資本金 13億7,605万円
- 上場市場 東証2部



ソフトウェア系統分野  
 ビジネスオートメーション●  
 (業務系、情報系、その他)  
 プロセスオートメーション●

- 基本ソフト・他
- パッケージ販売



株式会社 **ジャステック**

代表取締役社長 神山茂(昭和30年卒)

〒108-0074

東京都港区高輪3丁目5番23号

TEL.03(3446)0295 (代表)

株式会社

# 岡村製作所

東日本支社長 土屋正樹 (S37年卒)

東日本支社

〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア-12F

TEL. 022(712)1531 FAX. 022(712)1536

首都圏営業本部  
 官公庁部

〒107-0052 東京都港区赤坂6-1-20 国際新赤坂ビル西館10F

TEL. 03(5561)4031 FAX. 03(5561)4020

一日でいろいろなエンターテイメントが楽しめる

## サンリオピューロランド劇場

全天候屋内型テーマパーク

●営業日、営業時間、イベント、各種情報などのお問い合わせ  
 サンリオピューロランドゲストセンター  
 ☎042-339-1111 (9:30-17:00 休日はを除く)  
[www.sanrio.co.jp/PUROLAND](http://www.sanrio.co.jp/PUROLAND)

©1976,1990,2002 SANRIO CO., LTD.



始まる。

責任  
担当  
システム

顧客  
提案  
システム

フコクスタイル

対話  
営業  
システム

フコク生命キャラクター... 上川隆也

あなたの健康まとめてめんどうみます。



新医療保険

1泊2日の入院で5日分  
さらにプラス1日分  
日本の医療保険  
を改革します。

すてきな未来応援します

**フコク生命**

<http://www.fukoku-life.co.jp>

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2  
TEL 03-3508-1101 (大代表)



香港より、美味しい香港を目指して。



LUNCH : 飲茶食べ放題 大人3,000円 子供1,800円  
DINNER : 料理と飲茶食べ放題 大人4,000円 子供2,400円

2階の麻布迎賓楼は、ゆったりとしたスペースで個室など落ちついた  
雰囲気のみなさまをお迎えいたします。ワンランク上のお料理を、  
ゴージャスな雰囲気の中でご賞味ください。

香港ガーデン株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布4-5-2 FAX:03-3486-8612  
TEL:03-3486-8611 予約専用03-3486-3711  
河西 力 (昭和35年卒)

# 平成13年度東京同窓会盛況御礼

平成13年度幹事団、東京38会一同

わかお美容室  
若尾商事株式会社

若尾和子

32年卒業

電話 045-391-1121

Email wakao@gg.catv-yokoyokohama.ne.jp

家庭実用書の総合出版社

**ブティック社**

〒102-8620

東京都千代田区平河町1-8-3

TEL.03-3234-2081 FAX.03-3234-2135

会長 志村司郎 (昭20年卒) 社長 志村昌也 (昭35年卒) 副社長 内藤 朗 (昭46年卒)

# 祝 2002年 甲府中学 甲府一高 東京同窓会

母校に大変お世話になりました

## 同窓 親戚の輪

38年卒

新海 行子

39年卒

秋山 翹一

飯野 健彦

藤巻(志村)勝志

長谷川 為久夫

天野(雨宮)静子

森泉(西)弘子

太田(深沢)美由紀

佐藤(藤本)百合子

若尾(三井)千代美

伊藤 浩

徳栴(海野)仁

河西 康夫

金丸 孝敬

北原 正彦

田原 達人

長谷部 正敏

宮川 百仙

小林 基

幡野 由和

正木 基文

渡辺(雨宮)順子

佐藤 颯(鹿島清美)

風間(志村)裕子

芦沢(内藤)千鶴

丹治(根津)公子

高橋(藤森)康枝

溝口(湯本)芳江

相原 正樹

天野 泰造

鮎川 肇

上田 修

遠藤 茂男

小佐野蜂忠

小野 浩道

笠井 収

梶原 敏弘

柄沢 文雄

末木 勝利

高原 照夫

原 敏彦

芦沢 武嘉

飯島 善一郎

小尾 佑三

戸田 康

永井 哲夫

宮川 洪太

山本 正緒

鷹野(青沼)悠久子

石原(太田)ヤス

斉藤美都子(猪木淳子)

斉藤(荻野)美智子

久保(斉藤)芳子

中野 郁子

高原(三井)米子

大貫(山田)富美子

雨宮 季雄

飯島 信之

伊藤 康正

今村 靖彦

江口 邦雄

矢川(荻野)豊

田中 誠

福田 民生

藤江 富一

藤森 崇

古屋 禎佑

本間 禪英

松田 健嗣

鈴木 行宏

日向 正澄

米山 益巳

樋口(内田)米子

深沢(小林)伸子

雨宮(小林)釈子

瀧澤(佐野)三枝子

堀尾(鷹野)美恵子

小林(名取)牧子

丸茂(山田)和子

鮎川 真昭

市村 仁

内田 利明

国富 隆

久保 久治

小宮山 隆茂

望月(鈴木)紀男

鈴木 強

並木 敏

三井 克巳

村松 和明

吉田 経雄



## 境川カントリー倶楽部

代表取締役社長

金丸 信吾 (38年卒)

〒406-0851 山梨県東八代郡境川村小黒坂2266

TEL.055-266-5011(代) FAX.055-266-4689

東京営業所 TEL.042-339-8669

<http://www.alps-net.or.jp/sakaigawa/>

## 平成14年「日新鐘」広告協賛一覧(順不同・敬称略)

- 観音寺(佐藤 暉・39年)  
昭和31年卒業生有志一同  
ジャステック(神山 茂・30年)  
東京ガス(国富 隆・39年)  
境川カントリー倶楽部(金丸 信吾・38年)  
佐倉自動車教習所(網中 純子・39年)  
フコク生命  
サンリオ(辻 信太郎・20年)  
山梨中央銀行  
昭和38年卒業生一同  
さの薬局(佐野 哲也・H7年)  
宮島まさのぶ・皆川いわお(39年)  
山梨墓石センター(今橋 保・39年)  
文教グループ(竹中 索・39年)  
秋山酒類販売(秋山 武文・39年)  
割烹「壇」(高井 法弘・39年)  
ブティック社(志村 昌也・35年)  
昭和40年卒業生一同  
笠井総合法律事務所(笠井 盛男・27年)  
芝大門法律事務所(大脇 茂・37年)  
磯部公認会計士・税理士事務所(磯部 芳彦・39年)  
末木建築設計事務所(末木 和彦・39年)  
近藤・鈴木法律事務所(鈴木 仁・43年)  
長田組土木(雨宮 平・39年)  
竜王土地(藤本 克雄・39年)  
後藤 臣彦(39年)  
池田皮フ科(池田 和夫・39年)  
武田歯科クリニック(宅間 俊一・39年)  
ギョクホー堂(小宮山 隆茂・39年)  
望月(望月 俊二・39年)  
大和興産(大貫 富美子・39年)  
昭和39年卒業生一同  
東京會館(笠井 莞爾・33年)  
日本軽金属(小林 基・39年)  
吉川外科・整形外科(吉川 英雄・39年)  
シニアライフ振興財団(飯島 善一郎・39年)  
(株)サンニチ印刷  
岡村製作所(土屋 正樹・37年)  
香港ガーデン(河西 カ・35年)  
恩田 崇(27年)  
日本構造技術(波羅 芳武・39年)  
笠井法律事務所(笠井 収・39年)  
小野税理士事務所(小野 浩道・39年)  
高橋医院(高橋 康枝・39年)  
古柏園(古屋佳寿子・39年)  
わかお美容室(若尾 和子・32年)  
岩井機械工業(網倉 武夫・37年)  
中島 文夫設計事務所(46年)  
牧野内総合法律事務所(町田 正男・39年)  
鈴木 明法律事務所(37年)  
矢崎司法書士事務所(矢崎 欣一・39年)  
東京リベルテ法律事務所(笠井 治・42年)  
日本IBM(斉藤・細田・望月・39年)  
富士通山梨支店(飯島 信之・39年)  
山梨北研(河口 光賀・39年)  
ミサワ(三澤 恒徳・39年)  
進士歯科医院(進士 省三・39年)  
天野歯科医院(天野 静子・39年)  
フタミ薬局(山川 礼子・39年)  
成澤 正通・茂信・秀仁



# 素晴らしい眺望と華やかな雰囲気 二重橋前で楽しいパーティを。



＊

オープニング・パーティ、各種記念パーティ、ご披露宴、展示会、出張宴会、その他ご接待、ご会食などお人数の多少にかかわらず、ぜひご利用ください。

＊

笠井莞爾 (昭和33年卒)



皇居二重橋前

**東京會館**

〒100-0005 千代田区丸の内3-2-1  
☎(03)3215-2111  
ホームページ<http://www.kaikan.co.jp>

## 山梨で130年。



旧制甲府中学校(甲府一高)の前身である山梨県中学校は、明治13年、山梨県師範学校内に開校しました。同じ年、明治5年に創立した又新社(サンニチ印刷)は、山梨県布達をはじめ官公庁出版物の印刷を開始しました。

山梨に生まれて百有余年。これからも山梨とともに在り続けたいと思います。

私たちはサンニチ印刷です。

写真は、甲府城内の旧制甲府中学校の玄関と校舎。明治33年に錦町から甲府城跡内に新築移転し、その後、昭和3年に現在地の甲府市美咲に移転しました。(写真集「山梨百年」：山梨日日新聞社より)



Sannichi YBS Group

**株式会社 サンニチ印刷**  
Sannichi Printing

本社営業部・国母工場 甲府市宮原町608-1 (〒400-0058) TEL 055-241-1111  
東京支社 渋谷区代々木2-10-8ケイアイ新宿ビル (〒151-0053) TEL 03-3374-6241  
富士吉田営業所 富士吉田市下吉田4921 (〒403-0004) TEL 0555-23-8740  
URL <http://www.sannichi-p.co.jp/>

69